



障害福祉だより 29

～住み慣れた地域で
だれもが安心して暮らせるように～

問い合わせ先 地域福祉課
☎0837(52)5227 ☺0837(52)1490

福祉タクシー利用券をお渡しします

市内の在宅の心身障害者（児）で、身体障害者手帳を持っている人（障害の程度が1～3級）、療育手帳を持っている人、精神障害者保健福祉手帳を持っている人に福祉タクシー利用券を交付しています。

令和2年度分の受付は、右記の申請場所にて3月19日（金）から始まります。

令和元年度の未使用分は4月以降に返却してください。



- 助成内容 タクシー券（1枚500円）を年間48枚交付します。本人のタクシー乗車1回につき1枚利用できます（人工透析のための通院に利用する人は、追加交付します）。
- 手続開始日 3月19日（金）
- 手続に必要なもの 印鑑、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳※人工透析分の追加交付時は通院証明が必要
- 申請場所 地域福祉課、各総合支所総合窓口課、各出張所
- 問い合わせ先 地域福祉課☎0837(52)5227 ☺0837(52)1490
美東総合支所総合窓口課☎08396(2)5005 ☺08396(2)5111
秋芳総合支所総合窓口課☎0837(62)1905 ☺0837(62)1502



地域包括支援センターだより Vol.23

～いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らすために～

【地域ささえ愛会議の役割】～生活支援体制整備事業～

地域の皆さんからいただいた意見や生活支援コーディネーターが集めた地域の現状などを基に、様々な機関や地域の関係者が委員となり情報交換や問題解決に向けた協議をする場を協議体といいます。市では「地域ささえ愛会議」と名付け、美祢地区、美東・秋芳地区それぞれの地域と美祢市全体のことを話す会議をそれぞれ年2回程度開催しています。

安心して暮らし続けるためには、何が必要なのか、自分たちでできることはどんなことなのか、お互いに支えあう仕組みづくりなどを話し合い、地域のネットワークづくりの場として重要な役割があります。「いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らす」を実現していくために、皆さんのご意見やご協力をよろしくお願いします。



問い合わせ先 美祢市地域包括支援センター（美祢地域）☎0837(54)0138
美祢東地域包括支援センター（美東・秋芳地域）☎0837(62)0155 ☎08396(2)1234

開 催 中 止

場所：古民家みこづ

場所：フリューヴビル美祢

場所：フエンテ ※要予約☎0837(57)0124

()内は県下総数

データで
見る
美祢市

まちなうごき（令和2年2月1日）

人口	23,873人	前月比	▲58人
男	11,251人	前月比	▲21人
女	12,622人	前月比	▲37人
世帯数	10,986世帯	前月比	▲20世帯

	人身事故			物損事故
	件数	死者	傷者	
1月中	4(233)	0(3)	7(278)	42(3,055)
累計	4(233)	0(3)	7(278)	42(3,055)
昨年対比	▲2(▲45)	▲1(0)	▲4(▲68)	▲18(37)

病院だより102

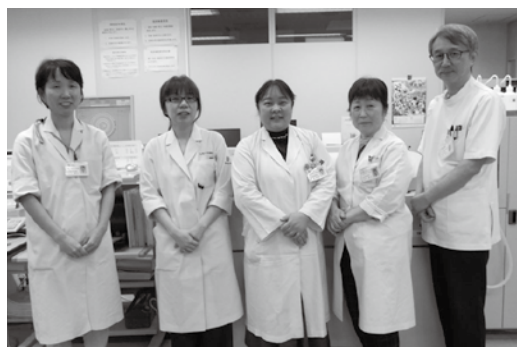


美祢市立美東病院 臨床検査科の紹介

当院は、5人の臨床検査技師があらゆる検査に対して迅速に対応しています。
また、休日や夜間においても、365日24時間検査を実施できる体制を整えています。

臨床検査技師は、様々な検査に対応できる幅広い検査技術や知識を兼ね備えた臨床検査の専門職です。

検査のことで何かご不明な点がありましたら、お気軽におたずねください。

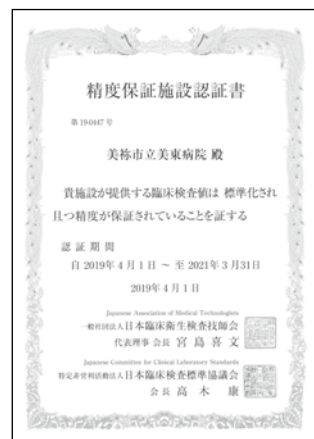


精度保証施設として認証されています

臨床検査の結果数値は、施設によって検査に使う機器や検査薬等が異なるため差が生じる場合があります。

当院は、全国規模の標準化事業（どの医療機関で検査をしても同じ結果が得られるようにするための事業）に参加し、正確な検査結果を提供できるように日々管理をしています。また、積極的に研修を受けるなど、知識・技術の向上を図っていることから、“標準化され、かつ精度が十分保証されていると評価できる施設”として平成31年4月に、一般社団法人日本臨床検査技師会と日本臨床検査標準協議会から精度保証施設として認証を受けました。

今後も、専門知識の習得や向上に努め、地域の皆さんの疾病の予防・診断・治療に役立つ臨床検査値を提供していきます。



機器が新しくなりました

当院で扱う検査機器が新しくなりました。
一部をご紹介します。

<全自動免疫測定装置（平成30年11月設置）>



血液を用いて、甲状腺機能の検査や、腫瘍マーカー（体内にがんがあるかどうかを推測したり治療の効果が出ているかを判断したりする）、心不全の有無、肝炎ウイルス感染の有無などを検査します。

<超音波診断装置（令和元年9月設置）>



超音波をあてることにより心臓や肝臓などの体のあらゆる部位を映し出し、疾患の有無を診る装置です。

<便潜血自動分析装置（令和2年1月設置）>



便中の血液混入をみる装置で、主に大腸がん検診で用います。